



● 今月号の元気な話題 ●

| | |
|-----------|--|
| 林振 | 林道七ツ森湖～泉ヶ岳線の整備が始まります 【林業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 |
| 農振 | Web サービスを活用したリモート勉強会を開催しました 【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・・・ 2 |
| 亘理 | 家族経営協定を締結しました 【亘理農業改良普及センター】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 |
| 地振 | 第1回みやぎ観光振興会議仙台圏域会議を開催しました 【地方振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 |

林道七ツ森湖～泉ヶ岳線の整備が始まります

▶ 林業振興部

今年度から七ツ森湖（南川ダム）と泉ヶ岳山麓を結ぶ高規格林道「七ツ森湖～泉ヶ岳線」（大和町～仙台市泉区：約8km）の整備が、令和10年度の完成を目指してスタートします。

この林道整備により、高性能林業機械の利用促進や大型トラック輸送が可能となり、本地域の効率的な森林施業を促し、県産木材の安定供給に大きく寄与するものと期待されます。

加えて、災害発生時の非常時などに一般公道が不通となった際の迂回路としての役割や、林業従事者の森林作業現場へのアクセス向上も図られます。

これまで整備計画の策定に当たっては、地元森林所有者や仙台市、大和町との打ち合わせを重ね、繰り返し現地踏査を実施するなど、地域の特性を十分に生かした林道となるようルート選定を行ってきました。

新たな林道を活用して、広域的な森林整備と地域林業活性化の実現や、地域の財産である豊かな森林環境を次世代に引き継いでいくことなど、期待される様々な効果発揮に向けて着実な整備を進めていきます。



▲ 関係者との現地打合せの様子



▲ 計画路線の現地踏査の様子

Web サービスを活用したリモート勉強会を開催しました

▶農業振興部（仙台農業改良普及センター）

仙台農業改良普及センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び働き方改革の一環として、5月27日（水）に、Web サービスを活用した「環境制御技術(※)勉強会（以下、リモート勉強会）」を開催しました。

今回は、県仙台合同庁舎、大郷町、松島町をインターネット回線で結び、環境制御システムを導入している経営体の職員と一緒に、環境制御技術の基本的な考え方を学習しました。リモート勉強会では、パソコンの画面を共有化して資料と一緒に確認したり、ホワイトボード機能を活用して絵を描いて説明する等、色々な機能を駆使しながら進めました。

このような勉強会をリモート方式で行うことで、新型コロナウイルスへの感染リスクを下げるだけでなく、参加者の移動時間等を削減できるため、栽培管理の時間に大きな影響を与えずに勉強会を開催することができました。



参加者からは移動時間が短縮できて良い、画面上で資料を見ることができるとの意見が聞かれました。

また、音声聞き取りづらさ等、通信状況により勉強会がスムーズに進まない場合があり、ネットワーク環境面の課題が明らかになりました。

今後、普及センターでは、リモート勉強会を開催する上でのルールづくり、マニュアルの作成を行い、状況に応じた「新しい形の栽培技術支援」を行っていきます。

※環境制御技術とは

収量、品質の向上を目的に、ハウス内の環境を植物体にとって最適化する技術

▲ 共有化された画面で説明する普及員

家族経営協定を締結しました

▶亘理農業改良普及センター

5月7日（木）、名取市でいちごを栽培する「ファンファームなとり」において家族経営協定(※)締結式が行われました。

「ファンファームなとり」を運営する佐々木綾子さんは、「わが子に食べさせたいと思える、美味しく安心なイチゴをつくりたい。」と、平成30年に就農しました。夫の和也さんは名取市内の農業法人に勤務していましたが、この度、綾子さんと一緒にいちご栽培に携わるべく、家族経営協定を締結しました。二人はそれぞれ就農前に農業法人でいちごの栽培技術を学び、現在「さちのか」を土耕栽培する傍ら、メロンやズッキーニを栽培し、効率よくパイプハウスを使っています。



「楽しく、おもしろく！ファンに愛される農園に」という想いを込めて名付けられた「ファンファームなとり」を、これから二人で盛り上げていきます。

※家族経営協定とは

家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき取り決めるもの

▲ いちごハウスの中で協定書を持つお二人

県は、国内外からの交流人口拡大を目指した効果的な観光振興施策を展開するための意見交換等を目的として、みやぎ観光振興会議を設置しました。仙台地域では、当地域の課題等を踏まえた観光振興策について議論する場として、同会議の仙台圏域会議が設置されました。



▲ 会議の様子

6月18日（木）に、第1回の仙台圏域会議を開催し、宿泊・交通・飲食など観光に関わる幅広い分野から18名の委員にお集まりいただき、圏域における観光の現状や課題等についてご意見を頂戴しました。会議においては、主に新型コロナウイルス感染症による影響や、そこからの回復策について議論しました。

今後、仙台を含む7つの圏域会議と、それらの意見を集約する全体会議を通して、新型コロナウイルス感染症からの回復戦略や、本県観光の中長期的な成長戦略について検討していきます。

● みやぎ観光振興会議仙台圏域会議のWebサイトはこちら-----▶



トピックス

毎月第3水曜日は「みやぎ水産の日」

「水」曜日 + 第「3」 = 「水産」

「みやぎ水産の日」とは、県内で獲れるおいしい水産物や水産加工品を、県民の皆様にもっともっと知ってもらい、食べてもらうために、宮城県が制定しました。震災からの復興を図るため、県内水産物の消費拡大を目指します。

詳しくは水産業振興課の
ホームページをご覧ください---



地元飲食店応援プロジェクト in 広域仙台都市圏」

新型コロナウイルス感染症により、飲食業などの幅広い分野で大きな影響が発生しています。そんな今こそ、テイクアウトやデリバリーサービスを活用して、「3密」を避けつつ地元飲食店を応援しましょう！

当事務所のホームページでは、管内市町村で実施している地元消費喚起の取り組みを紹介しています。



宮城県の新型コロナウイルス感染症関連情報

宮城県新型コロナウイルス感染症対策サイト ▶
(<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/>)



問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（担当：首藤）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

※次号は令和2年8月下旬発行予定です。